

# 令和4年度 事業報告書

社会福祉法人こまつ育成会

令和4年度の運営及び事業所別の活動実績は、以下のとおりです。

## 1 法人全体の概要

### (1) 充実した福祉サービスの提供

本法人は、障害者・児の福祉サービスの充実を目指し、本人・保護者の立場から各種サービスの提供と施設整備に努力してきたところであるが、退職職員の補充を満たせないことによる慢性的な労働力不足や施設の老朽化など懸案事項は山積したままの状態である。

サービス提供については、さくら、あしだ、いとまち、おおぞら、ふれんどの5つの拠点において、共同生活援助、相談、障害者就業・生活支援、生活介護、就労継続支援B型、児童発達支援、放課後等デイサービスなど各種の福祉サービスを提供した。

これらのサービスを提供するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策には特に配慮し、職員全員が社会機能維持者（エッセンシャルワーカー）としての自覚を持ちつつ、利用者の安全安心を最優先事項としてサービス提供に努めたところである。しかしながら、感染症蔓延防止対策や水害・雪害など自然災害からの安全安心の確保のため、一部サービスの休業や施設閉所の対応を取らざるを得ない状況にも至った。

サービス別利用については、相談支援事業所こまつの計画相談支援実人数、おおぞらさくら分場の延利用人数は増加、その他の施設のサービス提供延利用人数は減少という結果で、全体的には3.3%、延べ652人の減となった。これは、コロナによる閉所、利用者の利用控えが主な要因と考えられる。

このような状況であったが、決算では約1,710万円の黒字を確保できた。これは昨年度決算の約1,300万円と比較すると、約400万円の増である。

新年度見込みについては、おおぞら移転や人件費上昇など経営に影響を及ぼす事案が目前に横たわるが、法人として着実に前進を続けていきたい。

### (2) 事業所と実施事業

令和4年度に当法人が運営した事業所で提供した事業は、以下のとおりである。

- ① 拠点さくら
  - ア グループホーム桜木（共同生活援助・定員5人）
  - イ サービスセンターおおぞら さくら分場（生活介護・定員6人）
  - ウ 相談支援事業所こまつ（障がい児・者相談支援）
  - エ こまつ障害者就業・生活支援センター（障害者就業・生活支援センター、一般就労支援）
- ② 拠点あしだ（生活介護・定員20人、就労継続支援B型・定員20人、日中一時支援）
- ③ 拠点いとまち（児童通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス）・定員10人、障害児タイムケア、日中一時支援）
- ④ 拠点おおぞら（生活介護・定員14人、日中一時支援）

- ⑤ 拠点ふれんど 児童通所支援(児童発達支援、放課後等デイサービス)・定員 10 人、障害児タイムケア、日中一時支援)

(3) 主な固定資産の取得・廃棄

取得資産 (あしだ) ヤマハ除雪機 (中古)  
 (おおぞら) ホンダ小型除雪機、ネットフェンス、片開門扉  
 廃棄資産 (さくら) トヨタ エスティマ

(4) 職員の資質向上の取り組み

- ① サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修・・新規および現任者研修受講  
 ② 職場内研修 (OJT) ……新任職員、内部講師の研修を実施した。  
 ③ 職場外研修 (OFF-JT) ……石川県社会福祉協議会等の Zoom 研修を受講した。

(5) 職員数

令和 4 年度末の職員数は、常勤 51 人、非常勤 26 人の計 77 人で、昨年度と比較し 5 人の減である。

## 2 拠点さくら

(1) グループホーム桜木

- ① 令和 4 年度の利用状況等 (利用登録人数は 3 月末現在)

実施事業	定員	利用登録人数	延利用人数	営業日数	備考
共同生活援助	5	4	1,015	365	一日平均 2.8 人

一般就労及び施設に通所している人に対し居住の場を提供し、食事の提供や掃除及び日常生活における相談等の支援を行った。

- ② 苦情受付等 なし  
 ③ その他 緊急時における対応のため、避難訓練を行った。

(2) こまつ障害者就業・生活支援センター

- ① 障害者就業・生活支援センター事業

ア 障がい者の相談状況

登録障がい者数 894 人  
 相談支援件数 2,567 件  
 職場実習のあっせん件数 31 件  
 就職件数 68 件  
 事業主に対する相談支援 735 件

※ 主な相談内容

- (1) 求職相談、(2) 職場定着相談、(3) 職場の人間関係、(4) 就業に向けた家庭支援、(5) 生活上の相談、(6) 離職後の活動の相談 など

イ 関係機関との連絡会議の開催

2月16日に石川労働局、石川県労働企画課、同障害保健福祉課など各行政機関等と就労支援関係機関連絡会をオンラインで開催し南加賀圏域の障がい者雇用の課題、当センターの事業の実施状況などについて検討した。

ウ 個別支援会議

就労、生活上の課題に対し、行政機関、関係機関等の職員を含めた今後の支援のあり方や支援の役割を確認するための個別支援会議を必要に応じて開催した。

エ 職場定着促進のための在職者の交流活動の実施

在職者交流活動を5回オンライン会議にて実施した。

オ 求職者のピアサポート活動を小松市、加賀市にて各1回実施し、ハローワーク職員、企業人事担当、在職障がい当事者などによる個別相談会を行った。

② はたらく障がい者応援事業

就業・生活支援員を配置し、障がい者からの多様な相談に応じた指導・助言その他の援助、事業主に雇用管理に係わる助言、職業準備訓練・職場実習のあっせんを行った。

③ その他事業

南加賀就労支援強化連絡会

南加賀地区の行政、福祉施設、企業によるネットワークを構築し、障がい者の就業に向けての障害者就職応援セミナー（相談会）の開催や、障がい者の地域理解の向上を目的に「障がい者雇用情報誌/クローバー」第23号の発行などを行った。

(3) 相談支援事業所こまつ

① 地域相談支援、計画相談支援、障がい児相談支援

サービス等利用計画作成及び施設や病院から地域生活へ移行するための相談支援及び障がい児相談支援を行った。

ア 地域相談支援 地域移行支援及び地域定着支援・・・地域移行 0件

イ 計画相談支援

サービス等利用計画書の作成・・・・・・・・・・270件

サービス等利用計画書のモニタリング・・・・・・・・447件

ウ 障がい児相談支援

障害児支援利用計画書の作成・・・・・・・・・・44件

障害児支援利用計画書のモニタリング・・・・・・・・60件

② 障害者相談支援事業

小松市より障害者相談支援事業を受託し、常勤の相談支援専門員1人を配置し、次の支援を行った。

ア 障がい者の相談状況

実人数	身体障がい	重症心身障がい児・者	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	その他	合計
	36	0	177	76	9	0	15	313

上記の障がい者に対し、合計4,525件の相談・支援を行った。

イ 主な相談内容

福祉サービスの利用について、各種手続きの支援（障害者手帳の申請、障害者基礎年金の申請等）、通院同行、在宅生活の維持について等

ウ 他機関との連携

他の相談支援事業所、福祉サービス事業所、行政、学校等と連携し、個別支援会議の開催及び参加をした。

エ 障害支援区分の認定調査

小松市からの委託を受け、計 50 件の障害支援区分認定調査を実施した。

オ 相談支援の技術を向上させるため、各種の研修に参加した。

③ 相談支援機能強化事業

ア 小松市から相談支援機能強化事業を受託し、主任相談支援専門員及び相談支援専門員現任研修を修了した職員等を配置して、困難ケースへの対応、指定相談支援事業所等への指導・助言を行った。

イ 小松市障害者自立支援協議会運営への協力

事務局運営に関する協力及び精神障がい者等地域生活支援研究会、医療的ケア児のための関係機関検討部会、テーマ別チーム活動等に参加した。

ウ 地域生活支援拠点事業に参画し、障がい者相談支援センターと連携協力し、総合的・専門的な相談支援の実施を行った。

- ・相談支援体制の強化への取組（連携支援会議への参加 51 回、人材育成他）
- ・地域生活支援拠点事業における 24 時間緊急体制についての対応 3 回

エ 権利擁護、虐待防止に関する取組

(4) サービスセンターおおぞら さくら分場

① 令和 4 年度の利用状況等（利用登録人数は 3 月末現在）

実施事業	定員	利用登録人数	延利用人数	営業日数	備考
生活介護	6	9	676	240	1 日平均 2.8 人

※2023/1/25（水） 寒波による閉所

② 支援の内容

生活 さくら分場では、日常生活上の支援のほかに、お椀のシール貼り作業、月 1  
介護 回の調理実習、また、健康維持のための散歩と各自の楽しみを探りながら活動した。

<創作活動> 絵画や画用紙、色紙等を使用し、季節に応じた制作を実施した。

<機能訓練> 健康維持のため、散歩、ストレッチ体操等を実施した。

<社会適応訓練> 買い物、調理実習、ドライブ等を実施し、また、会食によりマナーを学んだ。

③ 苦情受付等 なし

④ その他 緊急時の対応のため、避難訓練及び消火訓練を行った。

### 3 サービスセンター あしだ

#### (1) 令和4年度の利用状況等（利用登録人数は3月末現在）

実施事業	定員	利用登録人数	延利用人数	営業日数	備考
生活介護	20	29	5,299	247	1日平均 21.5人
就労継続支援B型	20	18	3,321	246	1日平均 13.5人
日中一時支援	—	3	10		

※（あしだ生活Ⅰ）2022/4/6（水）～4/13（水） コロナ感染防止対策として閉所

※（あしだ生活Ⅱ）2022/4/8（金）～4/13（水） コロナ感染防止対策として閉所

※（あしだ就労） 2022/8/19（金） コロナ感染防止対策として閉所

2022/8/23（火）～8/25（木） コロナ感染防止対策として閉所

※（共通） 2023/1/25（水） 寒波による閉所

#### (2) 支援の内容

##### ① 生活介護

本人との信頼関係作りを大切にし、様々なコミュニケーション手段を利用して情緒の安定と生活の充実を目指した。なお、日常生活の支援として、入浴、排せつ、歯磨き、食事などの介助を行った。

また、趣味の充実と社会参加の意欲を高めるため、角あて、箱折りのほか、大麦ストロー作業、郵便物封入、チラシのシール貼りなど外部委託製品づくり、缶バッジ製作、ビーズ手芸・工作など利用者の能力に応じた生産・制作活動も実施した。なお、コロナ禍の中、箱折りなどの注文は減っており新たな作業の開拓が課題になっている。

その他、買い物や水泳はコロナ感染予防のため、できない時期もあったが、ウォーキング、リズム体操で体力の向上を図り、会食・調理実習・おやつ作りで食を楽しみ、他にも音楽の集いやお茶会などに参加するなど個々の感性や個性を大切にしながら余暇の充実を図った。

また、所内での部署間の垣根を取り払った合同行事を多数回実施し、共生社会への参加に向けた社会性の育成を図った。

##### ② 就労継続支援B型

就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練や支援を行うとともに、就労に向けた情報の提供を行った。また、自立した社会生活をめざすための生活改善の相談や手助けを行った。

具体的な施設内での作業は、古紙リサイクルステーションの運営、飲料容器回収作業、箱折り、ハーネス作業、小松市よりの依頼作業を行うなど、多様な作業体験を通して就労に向けた経験の蓄積を行った。

なお、コロナ感染予防対策の緩和により箱折りの注文が前年度(令和3年度)よりも増えてきている。

また、月1回のカルチャーデイを設け、文化体験や自ら健康への意識を高め健康管理を行うために体力作りを兼ねたウォーキング、軽スポーツ、ゲーム等を行った。

##### ③ 日中一時支援

利用者のニーズに合わせた余暇を充実させるための活動と支援を行った。

(3) 苦情受付等 0件

(4) その他

- ① 特別支援学校の生徒を実習生として2名、大学生の施設内実習を4名受け入れた。
- ② 緊急時の対応のため、年2回の避難訓練を行った。

#### 4 サービスセンターいとまち

- (1) 令和4年度の利用状況等（利用登録人数は3月末現在）

実施事業	定員	利用登録人数	延利用人数	営業日数	備考
児童発達支援	10	13	265	279	1日平均0.9人
放課後等デイサービス		26	2,607		1日平均9.3人

※2022/4/2（土）～4/11（月） コロナ感染防止対策として閉所

※2023/1/25（水） 寒波による閉所

- (2) 支援の内容

- ① 児童発達支援 親子通所による個別療育を実施した。
- ② 放課後等デイサービス 日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、適切な通所支援計画を作成し支援した。また、集団活動では、クッキング・お出かけ・制作・リズム体操・音楽会・誕生会・季節行事・食事会・買い物体験等の活動も行った。

- (3) 苦情受付等 なし

- (4) その他

- ① 必要に応じて、保護者や相談支援専門員、学校、他の事業所の職員、行政機関他関係者等が集まって支援会議を行った。
- ② 緊急時の対応のため避難訓練（地震・火災）や交通安全指導を行った。なお、利用者に興味関心を抱かせ、真剣に参加していただくために消防署員や警察の方に来ていただき指導を受けた。

#### 5 サービスセンターおおぞら

- (1) 令和4年度の利用状況等（利用登録人数は3月末現在）

実施事業	定員	利用登録人数	延利用回数	営業日数	備考
生活介護	14	17	3,289	251	1日平均13.1人

※2022/8/4（木）～8/5（金） 大雨により閉所

※2022/12/23（金） 大雪により閉所

※2023/1/25（水） 寒波による閉所

- (2) 支援の内容（生活介護）

ア 相談・援助 普段の様子、気になる行動の対処法、スムーズな通所、調子の悪い利用者の原因や対処法、病気予防のための運動や食事などについての相談、援助を行った。

イ 指導 調理実習、掃除、お茶当番、入浴、歯みがき、生理時の処理等の指導を行った。

- ウ 教養娯楽 コロナ禍日常生活の充実を図り、情緒の安定を目指すことを目的として、音楽教室、ぼっちゃ・グランドゴルフほかニュースポーツ体験、誕生会(テイクアウト)、おやつ作り、お花見、工作を通じた創作活動等を行った。
- エ 作業指導 箱折り、ペットボトルのラベルはがし、廃紙のシュレッダー等の作業を通じて、仕事の意欲、態度、技術などの指導をした。
- オ 社会生活上の便宜の供与 買物、初詣、アート展見学等公共の場でのルール・マナーを学んだ。
- カ 送迎サービス 利用者の希望により、自宅と事業所間の送迎サービスを行った。

(3) 苦情受付等 なし

(4) その他 緊急時の対応のため、年2回の避難訓練を行った。

## 6 こども通所センターふれんど

(1) 令和4年度の利用状況等（利用登録人数は3月末現在）

実施事業	定員	利用登録人数	延利用人数	営業日数	備考
児童発達支援	10	6	120	240	1日平均 0.5人
放課後等デイサービス		23	1,886		1日平均 7.9人

※2022/4/1（金） コロナ感染防止対策として閉所

※2022/8/4（木） 大雨のため午後閉所

※2022/12/23（金） 大雪のため1時間繰り上げ閉所

※2023/1/25（水） 寒波による閉所

児童発達支援 親子通所による個別療育を実施した。  
保育所等と連携するために、保育所訪問を行った。

放課後等デイサービス 日常生活の基本動作の指導（手洗い・うがい・排せつ・衣服の着脱など）、集団生活への適応訓練（あいさつ・コミュニケーション・ルール・生活マナーなど）の療育を行った。また、集団活動では、習字・お茶会・クッキング・制作・DVD鑑賞・職場見学・防災体験・誕生会・食事会・買い物体験等の活動も行った。  
その他、ジェイ・バス（株）ボランティアの会と地域交流を行った。

(3) 苦情受付等 なし

(4) その他

- ① 緊急時の対応のため、避難訓練（地震・火災）を2回行った。
- ② 必要に応じて、相談支援専門員、行政機関等関係者が集う支援者会議に参加した。
- ③ 指定福祉避難所として小松市と協定締結、令和5年3月1日から運用を開始した。  
受入れ可能人数等 5家族（1家族3人）計15人